

九州戯曲賞の応募に際してのよくある質問に対する回答をまとめました。

Q: 他の戯曲賞に応募した作品ですが、応募できますか？

A: 応募可能です。他の戯曲賞での受賞歴がある作品でも応募の制限はしておりません。

Q: 平成31年4月から令和4年3月までに書き上げた戯曲ですが、今年上演しました。それでも応募可能ですか。

A: 応募可能です。上演の有無は応募対象に影響ありません。

Q: 以前に書き上げた戯曲を平成31年4月から令和4年3月までに改作しました。応募可能ですか。

A: 応募できません。新作が応募対象の作品です。対象期間中（平成31年4月から令和4年3月）に書き上げた作品を対象期間中に改作した場合は応募可能です。

Q: 提出にあたり誤字脱字や変換ミス等をみつけました。修正は可能ですか。

A: 修正可能です。誤字脱字・変換ミスの修正、作品そのものではなく文としての誤りの修正は可能です。国内の戯曲賞の選評においても誤字脱字の多さが指摘されるケースがあります、読む立場でのご確認をお願いできますと幸いです。

Q: ページ数は入れたほうがいいですか。

A: できる限り入れて下さい（なくても応募可能です）

Q: 郵送での申請はできますか。

A: 今回、郵送での申請は受け付けておりません（添付ファイル送付の関係で、Googleアカウントが必要となります）。

Q: 応募票の「作品のあらすじまたはねらい」にはどのようなことを書けばいいのでしょうか。

A: 審査員の読み方によって変わってきますので一概には言えない部分です。あらすじが書きにくい場合、ストーリーやドラマ性に重きをおいていない作品の

場合は、どのような演劇的成果を狙っているのかわかるように書くのがいいように思われます。

Q: 自分の戯曲の講評を見るのは苦手なのですが、応募できますか。

A: 応募できます。一次審査員の講評が不要な場合は、応募票の「講評不要」の欄にチェックをいれてください。

Q: 劇作家が対象となっていますが、一般からは応募できないのでしょうか。

A: 応募可能です。年齢・プロ・アマは問いません。